各地の「10%ストップ！ネットワーク」のみなさん
「10%ストップ！」を願うすべてのみなさん

全国各地で、国会での徹底審議を行い、「10%ストップ！」の実現を求める取り組みを

2019 年 8 月 2 日

10 月消費税 10%ストップ！ ネットワーク

呼びかけ人：有田芳子（主婦連合会会長）、斎藤貴男（ジャーナリスト）、庄司正俊（全国ＦＣ加盟店協会会長）、住江憲勇（全国保険医団体連合会会長）、醍醐聰（東京大学名誉教授）、富岡幸雄（中央大学名誉教授）、浜矩子（同志社大学教授）、本田宏（ＮＰＯ法人医療制度研究会副理事長）、室井佑月（小説家・タレント）、山田洋次（映画監督）

政府が消費税率 10%への引き上げを予定している 10 月が近づいてきました。

しかし、先の参議院選挙直後から消費税増税への関心が高まり、生活や生業への影響を危惧する声が大きくなっています。投票日当日の出口調査や選挙後の世論調査でも、消費税増税に「反対」が過半数となっています。

消費税 10%への増税を中止させるためには、国会で「消費税増税中止法案」を成立させる必要があります。

「10%ストップ！ネットワーク」では、衆院予算委員会の全議員に要請し、政党との懇談を相次いで実施しています。臨時国会、予算委員会を早期に開いて消費税増税の是非を審議すること、特に野党には、一致結束して「消費税増税中止法案」を国会に提出するよう求めています。

いま、この声を全国各地から上げていくことが重要です。

全国のすべてのネットワーク、「10%ストップ！」を願う全ての皆さんに、ＦＡＸ等を通じて次の要請を行っていただくよう呼び掛けます。

１．与党を含む全政党支部、地元選出国会議員に
「消費税増税の是非を審議する臨時国会の召集、予算委員会の開催を、内閣に対して要求すること」→ひな形１

２．特に野党の地方支部、地元選出国会議員に
１．と併せて、「一致結束して、『消費税増税中止法案』を国会に提出し、『増税中止』を決断するよう、各党・議員に迫ること」→ひな形２